

小児医療費助成を

小6まで拡大

約1億円を補正

今定例会で、小児医療費の助成を来年度に小学校6年生まで引き上げるといふ方針が示されました。

これについては、他自治体と比べて遅れをとっていることから、我々市議会議員の間でも以前から早急に早く引き上げるべきと、議会で訴えておりましたが、吉田市長は財政上の理由として毎年1年ずつ引き上げており、今年の4月から3年生までとなっていました。

新年度予算で新たに計上することのことで、受給者証配布等の申請手続きが必要となることから、5・6年生は10月実施となりますが、今の3年生についてはそうなると4年生になつて4月から9月までの間は助成を受けられなくなるため、4年生分のみ今年12月の議会でも条例を改正し、補正予算を組んで4月実施とします。補

正額は、4年生分も含めて約1億円増となります。

後期高齢者市民検診

有料化へ

来年5月から

今定例会で、来年5月から後期高齢者が市民検診を受ける際に、自己負担分が徴収される旨が報告されました。

これまで後期高齢者医療証が交付されている市民が同健診を受ける場合には、自己負担は免除されてきました。しかし、前年度に事務事業の総点検の見直しが行われ、その中で免除を見直す旨、昨年の12月定例会で報告がされてきました。

尿・血液検査、心電図等の一般的な健診は従来通り無料ですが、がん検診などは免除がなくなり、具体的には、胃がんリスク健診は1340円、胸部健診510円、大腸がん検診510円、乳がん検診1640円といった料金になります。市民税の非課税世帯については引き続き無料です。また、

これによる収入増は、約1千万円を見込まれています。

市立中央斎場の

火葬使用料も有料に

市が方針を提示

坂本にある市立中央斎場は市内唯一の火葬場として、今までは横須賀市民については使用料が無料でした。しかし、今定例会で「有料化したい」との方針が示されました。

毎年の運営管理費として約2億円かかっており、そのうちの92%を一般財源で賄っている

とのこと、同斎場を使用しない市民にも同様の負担を課しているため、その公平化を図りたいということです。さらに、県内で火葬場をもっている11市のうち6市で使用料を徴収していることもその理由に挙げています。

今回、常任委員会において、有料化そのものは是非や金額設定などについて活発な質疑が交わされましたが、今後は今年の第4回定例会に条例改正案を提出し、来年4月からの引き上げが予定されています。

ありがとう横須賀

〜雑感〜

平成26年第3回定例会が終了し、今定例会でも一般質問をさせていいただきましたが、私の今任期中のそうした市政について問い質す機会も、あと2回を残すのみとなりました。

吉田市政も2期目に入り、市長が1期目に比べると積極的な施策

に乗りだしており、それは非常に評価できると思います。しかしながら、今回の一般質問でも指摘しましたが、強引な手法も目立ち、その点はしっかりとこちらも監視していかねばと思っております。ともあれ、今報告にも掲載させていただきましたブリッジプログラムなど、私のライフワークである地域特性を生かした英語教育の推進も一歩前進しました。残りの任期も力を尽くしてまいります。

大野忠之へのご期待・ご要望・ご意見などをお寄せ下さい。 FAX : 046-838-6573

ご氏名

ご連絡先